

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふくおーれ2号店（放課後等デイサービス）				公表日	2026年3月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		■利用者が十分に活動できるよう可動式扉を広げたり、狭めたりしながらスペースの確保をしている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		■職員の配置数は適切であり、個別の発達に合わせて職員を配置している	■特に無し	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		■活動室と職員室が同じフロアの為、事務作業中も子どもの様子を確認することができる	■靴を脱ぐための椅子を設置しているが、お支度の場所など利用者の発達段階に応じて、準備をしたり外したりする等臨機応変に対応をする	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		■毎日の清掃と活動後の片付け等をおこなっている ■整理整頓に努めている	■今後も利用者が心地よく過ごせるように、清掃、整理整頓に努める	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		■クールダウンをしたい時に別室に移動をしたり等の対応をしている	■今後も利用者の安全を確保した上で、利用者が活動している部屋以外での場所を使用することを継続していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		■活動前に職員間で目標の確認、活動後に振り返りをおこなっている。	■反省と次回へ活かすことを明確にしている。また、振り返りの意見を記録し、見返すことができるように継続する	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		■保護者から回答をいただき、職員間で共有をしている。そして、話し合いをする機会を設けて業務改善に繋げている	■保護者の意向や質問などは、個別に迅速にお答えするように心掛ける	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		■毎日のミーティングや振り返りの際に、意見を伝え合い改善策を考えることができている ■いつでも気軽に意見を言える雰囲気ができている	■職員間で話がしやすい環境作りにも今後も努める	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	■できていない	■外部からの評価をいただく機会を設けて、業務改善点がある際は、すぐに取り組む	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		■定期的に職員研修をおこなっている ■法人外の研修へ職員が参加しやすいように休暇取得の配慮などをおこなっている	■研修動画サイトを視聴する時間の確保や学んだことを職員間でアウトプットする機会を設けていく	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		■取り組んでいる活動をガイドライン項目に沿って作成したプログラムをホームページに掲載している	■今後も適切なプログラムを作成していけるように精進していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		■アセスメント情報を基に、職員間で会議をおこない、個別支援計画を作成している	■今後も適切な支援計画を作成していけるように精進していく	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		■支援計画原案作成会議の時間を設けて、職員間で話し合うことができている。	■職員間で話す際に、利用者の強みと課題点を出す等、共通理解を図っていく試みを今後も継続していく	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		■個別支援計画の写しを全職員が常に参照できるようにし、サービスの際に一人一人のねらいを確認して、支援をおこなっている	■計画に沿った支援ができるように、サービスの都度、計画を職員全員が確認することを今後も継続し、よりよい支援に繋げていく	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		■必要に応じて、発達検査や心理検査を実施し、アセスメントに活かしている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		■ガイドラインの各項目に沿った視点を念頭に置きつつ、利用者の特性に応じて、具体的な目標を立てている ■支援内容やツールも家庭で取り組めることができる具体的なものを取り入れている	■より精査された内容の計画策定に取り組んでいく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		■職員全員で活動プログラムや活動計画について意見を出し合い決めている	■打ち合わせや振り返りを細かくおこない、活動のねらいまで意識して作成していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		■季節や利用者の状況に合った活動を決めている ■同じ活動名でも内容は前回の反省を活かしたものとしている	■同じ活動でもスモールステップで取り組んでいたりと、前回の反省を活かした内容からルールを工夫したりとよりよい支援ができるように今後も努める	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ■個別の課題や集団での課題などアセスメントを利用して適宜組み合わせた個別支援計画を作成し、支援している 	■個別療育と集団療育それぞれのスペースを確保しているので、今後も継続する
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ■活動内容の確認や支援方法など支援前に話し合っている ■社内連絡用イントラネットにて、分かりやすく役割分担を確認することができている 	■職員が共通理解できるようにツールの活用をおこなっていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ■その日の利用者の様子や支援について共有できている ■次回はどうするかということも話し合うことができている 	■その日の支援について、全職員に共有しつつ他の職員ならどう対応するか等話し合い、各職員の成功体験等を基に職員の支援力を高めることに努めている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ■利用者の様子や支援の方法、利用者の反応など記録をしている ■振り返りの際、利用者の様子や支援について追記事項を入力したり、反省や改善点を記録している 	<ul style="list-style-type: none"> ■活動前などの目標を中心に記録をとるか確認をして活動に臨み、質の高い記録をするように取り組んでいる ■その記録から、支援の検証や改善に努めている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	■定期的にモニタリングや見直しをおこなっている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	■適切に支援をおこなえている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	■援助要請や自発的発言などが増加していくように支援をしている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	■児童発達支援管理責任者や利用者の担当など、必要に応じて参加している	■日頃から利用者の状況を職員間で共有し合うことを継続する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	■地域の教育機関とネットワークを構築し、紹介のあった児童を受け入れている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ■送迎はおこなっていない ■学校行事や下校時間に関しては保護者や利用者本人から確認を得ている 	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	■こちらでどのような支援をおこなっていくか、どのような支援プログラムを企てるかが適切かを把握するため、積極的に連絡・連携している	■必要に応じて電話や書面にて情報共有と相互理解に努めている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	■移行の際には支援内容の情報共有をおこなっている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	■できていない	■機会を設けて、業務改善点がある際は、すぐに取り組む
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	■地域の教育機関とネットワークを構築し、紹介のあった児童を受け入れている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	■できていない	■機会を設けていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	■電話や家族支援の機会を持つようし、伝えている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	■家族支援の場をペアトレの機会に充てたり、子育てサポートという形で支援場面を直接ご確認いただいている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ■契約時におこなっている ■改定がある都度、面談時や書面にておこなっている 	■今後もより分かりやすく伝えられるように努める
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者の願いや計画に取り入れてほしいこと等を含めるようにしている ■保護者からのアセスメントシートを基に利用者へ合った計画を立て、保護者に確認をして同意を得ている 	■利用者や家族の意向についてしっかりと確認をする機会を今後も設けていく
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	■対面による面談をおこない、説明をして同意を得ている	■今後もより分かりやすく伝えられるように根拠となるアセスメントや検査の資料等を使用しながら説明をおこなう
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	■必要の際には、すぐに電話や面談をおこなっている	■今後も相談があった際には、迅速に対応をしていく

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	■できていない	■同じ学年や同じニーズのある保護者を対象にする等、機会を設けるようにしていく
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	■相談等があった際には、すぐに職員間で対応を話し合っている	■今後も相談があった際には、迅速に対応をしていく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	■HPやSNSは活用していないが、メールを用いて各ご家庭に活動や支援内容をお伝えしている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	■外部への持ち出しがないようにしている ■書類等、ダブルチェックをするなどして、配慮している	■利用者の目に見えるところに書類を置かない等、基本的なことをしっかりおこなっていく
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	■個々に適切な対応方法を検討し、実施している	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	■できていない	■1対1の個別療育を中心としたサービスを実施しているため、地域の方々の巻き込んだ企画が困難 ■できることはないか検討を続ける
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	■マニュアルの確認や訓練実施ができています	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	■計画の確認や訓練実施ができています	■今後は消防士立会いのもと訓練をおこなうことも検討していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	■契約時に利用者の情報をお聞きしている ■必要に応じて保護者から情報をもらうようにしている	■情報の洩れがないよう、既に契約されている利用者についても定期的に確認をする
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	■食事は提供していないため、特別な対応は実施していない	■食事を提供することになれば、適切な対応をおこなっていくようにする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	■計画の確認や訓練実施ができています	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	■計画の確認や訓練実施ができています	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	■該当事案を共有し合う体制を整えており、何かあれば全員が事態を把握し、対応方法まで共有できるようにしている	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	■適切に研修実施ができています	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	■職員間で共通理解を図り、説明の実施、計画への盛り込みができています	■今後も適切な対応をしていけるように精進していく	